



## 掲示板

- ちょっと チャット —テーマを決めたおしゃべり会—  
湘北短期大学教員と利用者によるおしゃべり会です。  
毎月第3木曜日 13時～14時30分に行っています。  
次回は8月16日(木)、9月20日(木)です。
- 人形劇公演 (OFCサークル・湘北短大人形劇サークル)  
\* 8月9日(木) 10時30分～  
「オオカミと7匹の子ヤギ」
- リトミック・・・一緒に うたったり おどったり (3歳以下とお母さん向き)  
\*8月22日(水) 10時30分～



## ほっとれもんていの活動について

ほっとれもんていは「次世代育成支援対策推進法」に基づく「つどいの広場事業」により開設されています。参加料・予約などはありません。お気軽に遊びにいらしてください。

- 開設時間：月曜日・火曜日・水曜日・木曜日・金曜日（祝日は除く）
  - 開設時間：9時30分～15時30分  
12時～13時はお休みとなります。  
※13時～15時：園庭でお子さんと自由に遊んでください。
  - 開設場所：ほっとれもんてい（あゆのこ保育園内）
- <内容> \*親子でのくつろぎや遊びのひとつき  
\*お母様のお友達づくりと子どもの一般的な発達の姿の確認  
\*お子さんのお友達作り \*スタッフへの気軽な相談など  
\*育児講座 \*育児相談



つどいの広場 ほっとれもんてい

(あゆのこ保育園

内)

〒243-0032

厚木市恩名1丁目10番38号

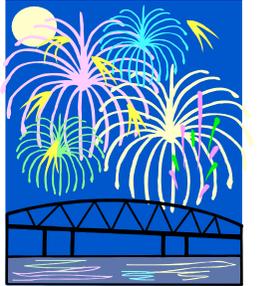
電話：046-222-6055

次世代育成支援対策推進法 つどいの広場

# ほっとれもんてい

2007年8月号NO. 2

いよいよ夏本番となって参りました。毎日暑い日が続きますね。この季節、子どもが好きな水遊びで涼を取ったり、水分を補給して上手に夏を過ごしましょう。ほっとれもんていは毎日開設しています、お気軽に遊びにいらしてください。お待ちしております。



## 育児講座

### テーマ:『楽しい音楽とおしゃべり』

～子どもと音楽の出会い～

- 講師：国府華子先生  
湘北短期大学保育学科講師
- 日時：9月8日(土) 10時～11時30分
- 場所：ほっとれもんてい (あゆのこ保育園内)
- 対象：乳幼児の保護者 \*お子様もご一緒にどうぞ

音楽というと歌や楽器を思い浮かべられるかもしれませんが、でももっとも身近なところに音楽の芽生えがあります。子どもたちは、そんな小さな芽を見つける天才です。ピアノの演奏も交えながら、そんな子どもと音楽との関わりについてお話します。お子さんが泣いても、動き回っても大丈夫です。ご一緒に音楽のある楽しい時間を過ごしましょう。

## 育児のヒント

今月から皆様の育児の参考にさせていただけたらと、  
『育児のヒント』を記載することといたしました。  
今回は湘北短期大学保育学科教授野口周一先生です。

### ～小児科医・松田道雄さんとの再会～

湘北短期大学保育学科教授  
野口 周一

私が高校1年生だったのは40年ほど前のことです。その年にはソニーの創業者・井深大氏が講演に来校され、また標記の松田道雄さんの『私は赤ちゃん』(1960年)『私は二歳』(1961年) <いずれも岩波新書>にも出会い、乳幼児を語り手にした育児についての鋭い問題提起に魅了されたものでした。

松田さんのプロフィールをご紹介しますと、氏は1908年生まれ、当時亡国病といわれた結核の専門医から出発し、やがて小児科医として活発な提言をするようになりました。松田さんは京都の街の一開業医として、診察室での観察にもとづいて上記の二書をユーモアにあふれた語り口で叙述したのです。

松田さんにはロングセラーとなった『育児の百科』(岩波書店、1967年)があり、これにも思い出があるのです。私は大学時代に第二語学はロシア語をとりました。そのS先生のことです。先生は大学のパートタイム講師として貧窮を極めていた頃、生活費が底をつくときキャベツで飢えをしのいでいたと語っていました。世は昭和元禄と呼ばれ好景気に浮かれていた時代でした。先生の強靱な精神力は、ロマの人々(かつてはジプシーと呼ばれていましたが、いまは差別用語として用いられていません)とともにロシアからスペインへの徒歩旅行の最中で育まれたものと思われます。先生は奥様との「共同生活」のなかで子育てにも努力され、病気のお子様を病院に連れて行き症状を説明したとき、担当医から「あなたは医者か」と問われたそうですが、その医学知識は『育児の百科』から得たものだと自慢していました。また、私に娘が生まれたとき、従姉妹から『育児の百科』をお祝いにと言われました。このように、この本は市井の人々から多くの信頼を得ていたのです。

さて、冒頭の二書がいかにか画期的な書物であったかについてお話をさせていただきます。松田さんは「診察室で毎日さまざまな赤ちゃんに接しながら、赤ちゃんは両親や他のおとなから、かなり不当な取扱いを受けているのを感じていたので」、「赤ちゃんの立場から親たちに注文するようなものを書く」(『私は赤ちゃん』188ページ)という視点から、育児に悩む母親に助言を通してエールを送り、かつ子どもの人権を守るという明確な主張を打ち出したのです。

その松田さんも1998年には亡くなりました。昨春、私は湘北短大に歴史学から転じて教育学担当として迎えていただきました。そのとき「これで松田道雄研究にいそしめる」と思いました。氏との再会の意味です。松田さんは『ロシアの革命』(河出書房新社、1970年)

という著作をもつ立派な歴史家でもありました。私は歴史学徒として出発しておりますので、皆様に「温故知新」(古い物事を研究して新しい知識や見解を持つ)という言葉をご贈らせていただきます。人間の考えというものは古いから価値がなく、新しいから素晴らしいなどとは言えません。医学知識はさておくべきですが、それを用いるのも人間だということも忘れてはいけないと思います。松田さんの本は出版からやがて半世紀を経ようとしています。是非この機会にご一読いただきたいと思います。私も1歳8ヶ月の男児の子育てに奮闘する娘に、この二書を渡してきたばかりです。ここには現代のさまざまな問題の答えがぎっしり詰まっているのです。



## イベント報告

### ■ 育児講座【子どもが「イヤ!」とって戸惑うとき】を開催しました

7月14日(土)、山岸道子先生(湘北短期大学元教授 あゆのこ保育園保育アドバイザー)より「子どもがイヤといった時」親は子どもとどのように関わればいいのかお話を伺いました。子どもの発達の特徴、特徴的な発達(人見知り、反抗期といわれる行動、自我の目覚め)が分かったうえで、子どもとの上手な関わり方や子どもの心を理解することを、絵本をご紹介いただきながら話していただきました。絵本は子どものためだけでなく、親のための育児書になる、子どもの心を理解しましょう。

#### <参加者の感想から・・・>

- ・ 自己主張が出てきて対応に困っていたのですが子どもの意思を尊重してあげようと思います。
- ・ 甘やかしすぎかなと悩むときもあったのですが、今はその気持ちにこたえてあげることが大切なんだと自信が持てました。
- ・ 「心が満たされている」ということの大切さを肝に銘じて生活していきます。
- ・ 絵本を交えてのお話は分かりやすくとても参考になりました。



## 絵本・手遊び紹介

### ・「くだもの」 平山和子さく/福音館書店

まるごとのすいかひとつ、ページをめくるとお皿の上においしそうすいか「さあどうぞ」ページをめくるといろいろなくだものを「さあどうぞ」、とってもおいしそう。

### ・「パンやさんにお買い物」 佐倉智子・詞 おざわたつゆき・曲

パンにたとえて顔や体のあちこちをスキンシップする遊びです。

- 1 パンパンパンやさんにおかいかも サンドイッチに メロンパン ねじりドーナツ パンののみみ チョコパンふたつくださいな
- 2 ホイホイたくさんまいどあり サンドイッチに メロンパン ねじりドーナツ パンののみみ チョコパンふたつはいどうぞ